






通知アイコンからお知らせ内容を確認

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、待受画面に通知アイコンを表示してお知らせします。

- 主な通知アイコンと、選択した場合の動作は次のとおりです。
 -  (伝言メモ)：伝言メモリスト画面が表示されます。
 -  (不在着信)：着信履歴一覧画面が表示されます。
 -  (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：留守番電話接続の確認画面が表示されます。
 -  (新着メール)：受信BOX画面が表示されます。
 -  (通知情報)：ステータスパネルが表示されます。
- 通知情報以外の通知アイコンは、内容を確認すると消えます。なお、留守番電話サービスの場合は、伝言メッセージを削除/保存すると消去できます。

ステータスバーについて

画面上部のステータスバーに表示されるお知らせアイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。





ステータスバー























お知らせアイコン

ステータスアイコン

■ 主なお知らせアイコン一覧

	新着SMSあり	—
	SMSの送信失敗	—
	新着メールあり	—
	新着PCメールあり	—

	新着エリアメールあり	—
	エラー表示 ● 何らかのエラーが発生したときに表示されます。	—
	データ通信が無効 ● データ通信の制限を超えた場合に表示されます。	—
	アラーム鳴動中/スヌーズ中	—
	スケジュールの予定を通知中	—
	着信中/通話中/発信中	P.55
	不在着信あり	—
	伝言メモあり	P.59
	microSDカードのマウント中	—
	本体メモリの空き容量低下	—
	Bluetooth通信のデータ受信要求あり	—
	送信表示	—
	受信表示	—
	スクリーンショットで画像を保存	P.35
	[USBデザリング]が有効	—
	[Bluetoothデザリング]が有効	
	複数のデザリングが有効	P.76
	ソフトウェア更新あり	
	おまかせロック設定中	—
	表示されていないお知らせアイコンあり	—

■ 主なステータスアイコン一覧

	電池レベル 100% / 残量なし / 充電中	—
	バッテリーケアモードを「ON」に設定中	—
	電波の強さ	—
	圏外	—
	通信中	—
	機内モード中	—
	3G使用可能	—
	4G (LTE) 使用可能	—
	国際ローミング中	—
	マナーモード	—
	ドライブモード	—
	サイレントモード	—
	ポインターが有効	P.30
	ポインターが無効	P.30
	ハンズフリーで通話中	P.57
	ミュートに設定中	P.57
	アラーム設定中	—
	Bluetooth接続中	—
	Wi-Fi接続中	—
	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中	—
	[Wi-Fiテザリング] が有効	—
	VPN接続	—
	伝言メモ設定中	P.59
	伝言メモ全件録音済み	

通知リストについて

通知リストでは、通知内容の確認や対応するアプリの起動ができません。

① (1秒以上)



① 通知エリア

- 端末の状態や通知内容を確認できます。お知らせを選択すると、対応する機能を起動して確認できます。

② サブメニュー

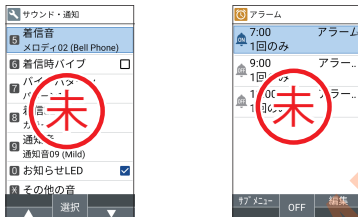
- 通知の削除や設定ができます。

設定の切り替え

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、項目にカーソルを合わせて[]を押すと設定の有効/無効や、[ON] / [OFF] を切り替えることができます。

- [] は有効、[] は無効の状態です。
- 操作ガイダンスに [全選択] / [全解除] が表示されているときは、該当する機能キーを押すとすべての項目を選択/解除できます。

例：サウンド・通知画面、アラーム画面



お知らせ

- 件数、通知アイコンのお知らせ内容が表示されるものもあります。

着信/充電ランプ

- 着信中や充電中などに着信/充電ランプを点灯/点滅してお知らせします。
 - 赤色点灯：充電中
 - 青色点滅：着信中/不在着信あり/伝言メモあり/新着メール・メッセージ・SMSあり

サブディスプレイについて

サブディスプレイは、日時・時間、マナーモードや電池残量などの端末の状態、着信相手などの情報を表示してお知らせします。

- 本端末を閉じている状態で[マナー/シャッター]を押したときや、本端末を閉じたときなどにサブディスプレイが点灯します。

サブディスプレイの見かた

[マナー/シャッター]を押すと表示が切り換わります。



時計表示



ステータスアイコン表示

■ 主なアイコン一覧 (未)

●	電波の強さ
●	圏外
●	機内モード中
●	3G使用可能
●	4G (LTE) 使用可能
●	国際ローミング中

●	電池レベル ●100%/●残量なし/●充電中/ ●バッテリーケアモードを「ON」に設定中
●	マナーモード状態 ●マナーモード/●ドライブモード/●サイレントモード
●	Wi-Fi®接続中

スクリーンショットの撮影

☑️と📷を同時に1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、データフォルダの「画像」で確認することができます。

お知らせ

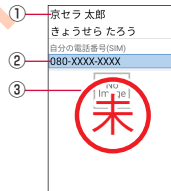
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

プロフィール

nanoSIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できません。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- お買い上げ時は、取り付けたnanoSIMカードに登録されている電話番号のみが表示されます。

- 1 待受画面で☑️▶️【プロフィール】
- 2 プロフィールを確認/利用する





- 1 姓名/よみがな
 - 名前を登録すると表示されます。
- 2 自分の電話番号
- 3 画像

■ プロフィールの編集／利用

1 待受画面で ▶ [プロフィール]

2 ▶ [編集] ▶ 各項目を設定 ▶

- 設定できる各項目については→P.60
- プロフィールを送信： ▶ [データ送信（共有）] ▶ 画面の指示に従って操作
- 項目のコピー：コピーしたい項目にカーソルを合わせる ▶ 

■ メールアドレスの確認

1 待受画面で

2 [メール設定] ▶ [マイアドレス]

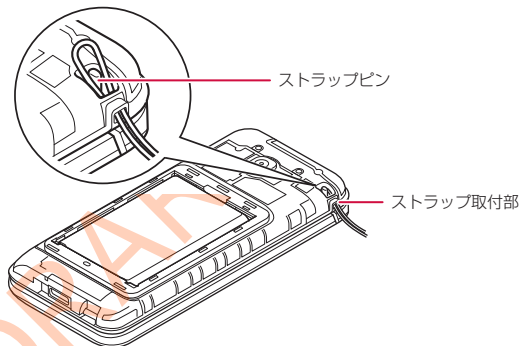
- [更新する] を選択すると、マイアドレスの情報を更新できます。

ストラップの取り付け

ストラップの取り付けは、リアカバーを取り外してから行ってください（→P.22）。ストラップの取り付け後はリアカバーを取り付けてください（→P.22）。

1 ストラップをストラップ取付部から通す

2 ストラップをストラップピンへ確実に引っ掛けてから、外側へ引っ張る



3 リアカバーを取り付ける

お知らせ

- ストラップがストラップピンに確実に引っ掛かっていることを確認してください。本体とリアカバーの間にストラップが挟まると、リアカバーが完全に閉まらなくなり、防水・防塵性能が損なわれます。また、ストラップが外れ、破損やけがの原因になります。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

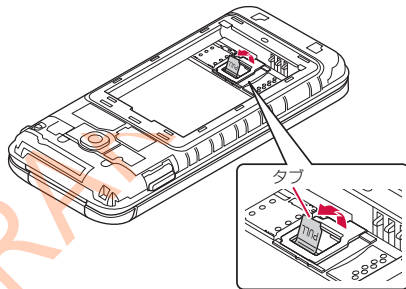
- 本端末ではnanoSIMカードのみご利用できます。miniSIMカード、SIMカード、***カードをお持ちの場合には、***ショップ窓口にてnanoSIMカードにお取り替えください。
- nanoSIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoSIMカードについて詳しくは、***のホームページをご覧ください。

nanoSIMカードの取り付け／取り外し

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.44）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.43）を取り付けてください。

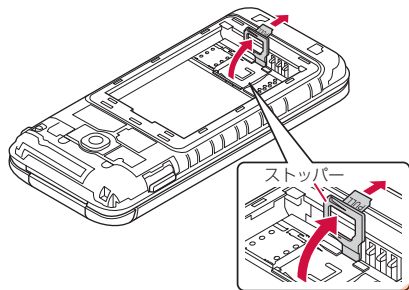
nanoSIMカードの取り付けかた

- ① タブを矢印の方向に持ち上げる



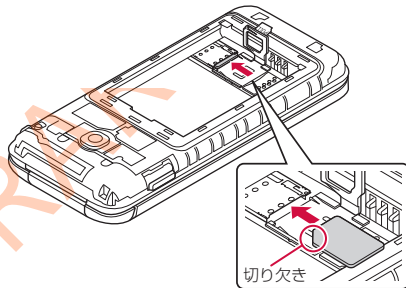
2 タブを引っ張り、ストッパーを矢印の方向に持ち上げる

- ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。



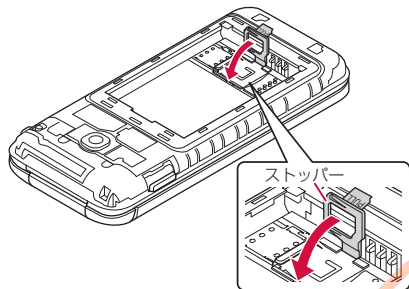
3 nanoSIMカードのIC(金属)部分を下にして矢印の方向にスライドさせ、nanoSIMカードスロットにカチッと音がするまで押して取り付ける

- 切り欠きの位置に注意してください。



4 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする

- ストッパーがうまく閉じない場合は、いったんストッパーを持ち上げて、nanoSIMカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。

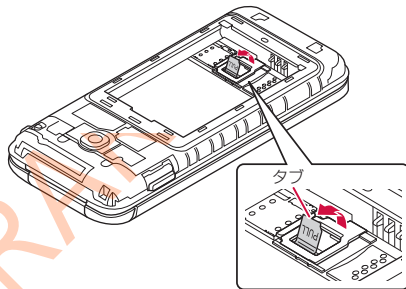


お知らせ

- ストッパーは、しっかりとロックしてください。ロックしていないと、衝撃などでnanoSIMカードが外れ、端末が自動的に再起動するおそれがありますので、ご注意ください。

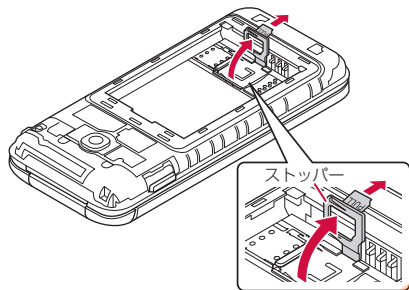
nanoSIMカードの取り外しかた

1 タブを矢印の方向に持ち上げる

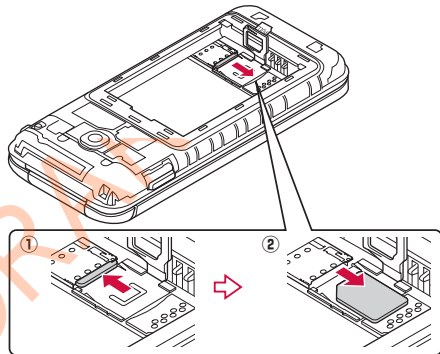


2 タブを引っ張り、ストッパーを矢印の方向に持ち上げる

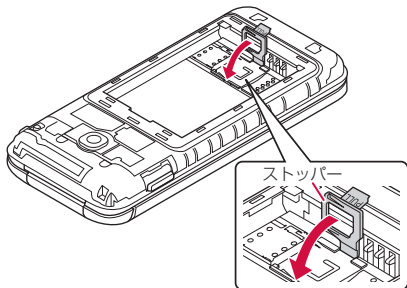
- ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。



3 *** nanoUIMカードをカチッと音がするまで押したあと(①)、まっすぐに引き出す(②)



4 ストッパーをカチッと音がするまで倒し、ロックする



お知らせ

- nanoSIMカードを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、IC（金色）に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカードスロットカバーが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

nanoSIMカードの暗証番号について

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります（→P.52）。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- EB1136では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2023年2月現在）。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管して下さるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

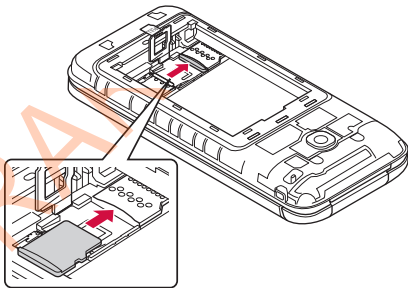
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.44）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手できり持ちってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.43）を取り付けてください。

microSDカードの取り付けかた

- ① タブを持ち上げる（→P.37）
- ② タブを引っ張り、ストッパーを持ち上げる（→P.38）
 - ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。

- ③ microSDカードの端子（金属）面を下にして矢印の方向にスライドさせ、microSDカードスロットに取り付ける

- microSDカードを差し込む向きに注意してください。

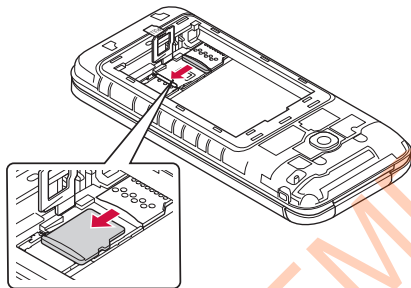


- ④ ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする（→P.39）

- ストッパーがうまく閉じない場合は、いったんストッパーを持ち上げて、microSDカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。

microSDカードの取り外しかた

- 1 タブを持ち上げる(→P.37)
- 2 タブを引っ張り、ストッパーを持ち上げる(→P.38)
 - ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。
- 3 microSDカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDカードスロットから取り外す



- 4 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする(→P.39)

電池パック

電池パックは、本端末専用の電池パック KY01をご利用ください。

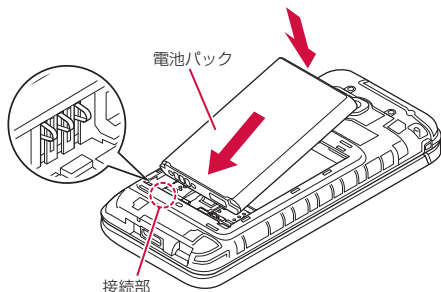
- 電池パックは防水性能を有しておりません。

電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー(→P.22)を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー(→P.22)を取り付けてください。

電池パックの取り付けかた

- 1 電池パックを取り付ける
 - 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。



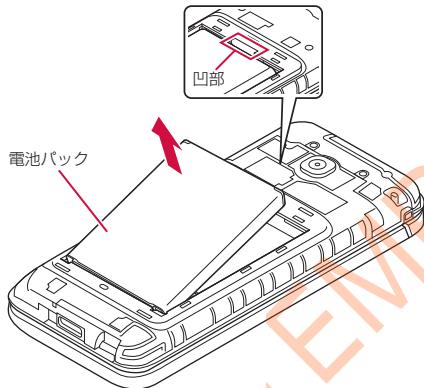
お知らせ

- nanoSIMカード、microSDカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

電池パックの取り外しかた

① 電池パックを取り外す

- 本体の凹部から指先（爪）を電池パックに引っ掛けて、矢印の方向に持ち上げて取り外してください。



充電

お買い上げ時の電池パックは十分に充電された状態ではありません。

十分に充電したときの使用可能時間（目安）

使用環境や電池パックの状態により、本端末を使える時間は異なります。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



充電について

- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに【⚡】が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。

- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、***のオンラインショップでご確認ください。

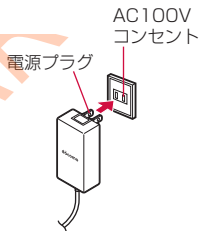
ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはACアダプタ 08（別売）、DCアダプタ 05（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 08は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ACアダプタで充電する

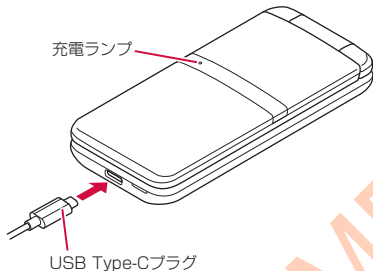
- ACアダプタ 08（別売）を使って充電する場合は次の操作を行います。

① ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



2 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。
- 端末の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
- 端末の充電ランプが青色点滅の場合は、青色点滅が優先になります。
- 充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

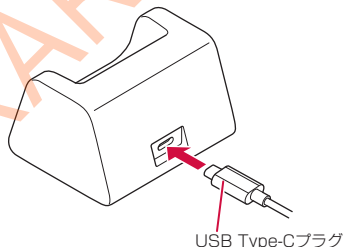
4 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを端末の外部接続端子から抜く

卓上ホルダを使って充電する

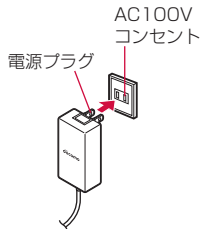
- 卓上ホルダ KY01（別売）とACアダプタ 08（別売）を使って充電する場合は次の操作を行います。

1 卓上ホルダの接続端子にACアダプタのUSB Type-Cプラグを差し込む

- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。

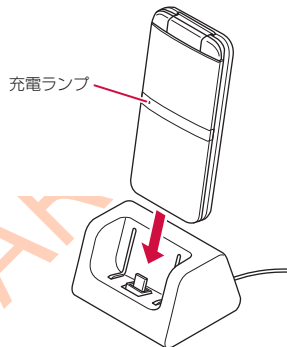


2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



3 端末を閉じた状態で卓上ホルダに取り付ける

- 矢印の方向に端末をはめ込みます。本端末と卓上ホルダの向きに注意して、外部接続端子に奥までしっかりとまっすぐに差し込むように取り付けてください。
- 端末の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
- 端末の充電ランプが青色点滅の場合は、青色点滅が優先になります。
- 充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



- 4 充電が完了したら、端末を卓上ホルダから取り外す
- 5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 05 (別売) は、自動車のアクセサリソケット (12V/24V) から充電するための電源を供給するアダプタです。


- DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02 (別売) が必要です。
- 取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ 05、USBケーブル A to C 02の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する


端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02 (別売) で接続すると、端末を充電することができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1  (2秒以上)
 - はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください (→P.50)。

電源を切る

- 1  (1秒以上)
- 2 [はい]

Device Controlアプリ

電話やWi-Fiなどの機能を個別に制限し、業務に適した設定が簡単に行えるDevice Controlを搭載しています。設定用のPCなどは不要で、端末のみで設定できます。設定の複製も簡単に行うことができます。

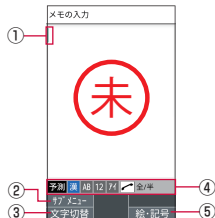
- Device Controlを利用するには、端末の初期設定時にDevice Controlを有効にする必要があります (→P. 50)。
- Device Controlの利用方法については、***のホームページ掲載の取扱説明書 (PDFファイル) をご覧ください。


文字入力

電話帳の登録やメールの作成など、文字を入力して利用する機能やアプリがあります。

文字入力のしくみ

1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられています。キーを押すたびに文字が切り替わります。





- ① **カーソル**
 - 追加したい位置にカーソルを合わせます。
- ② **サブメニュー**
 - 文字のコピー／貼り付けや入力設定などができます。
- ③ **文字切替**
 - 入力する文字種を変更します。
 - ・ を押すたびに半角英字→半角数字→半角カタカナ→ひらがな漢字の順に、文字種が切り替わります。
- ④ **入力モード表示**
 - 入力モードを確認できます。選択中の文字種は青のアイコンで表示されます。
- ⑤ **絵文字・顔文字・記号**
 - 絵文字／顔文字／記号リストを表示します。
 - ・ アプリによっては、入力できないものがあります。

かな入力と2タッチ入力について



文字種を漢字またはカタカナ（全角／半角）に切り替えたときの入力方式には、「かな方式」と「2タッチ方式」の2種類があります。

文字の変換について

ひらがなを入力してを押すと、入力時に押したダイヤルキーに対応したカタカナ／英字／数字／記号および予測される日付や時間の変換候補一覧が表示されます。文字種が「漢」のまま英数字・カタカナや月日、時間などを入力するときに便利です。
例：「かきく」を入力してを押すと、「ABC」などの変換候補が表示されます。

文字の修正

バック機能について

文字入力時にキーを押すすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、を押すと前の文字に戻すことができます。
例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、を押すと、「き」に戻ります。






お知らせ

- 「入力方式」を「2タッチ方式」に設定した場合、この機能は利用できません。

戻す機能について

（元に戻す）を押すと、直前の確定を解除できます。

予測変換機能について

- 「変換モード」を「予測変換」に設定すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節が変換候補として挙げられます。
例：「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が表示され、を押すと選択できます。また、確定した文に続くことが予想される予測変換の候補も表示されます。
例：「私」と入力すると、予測変換の候補に「は」「の」「が」などが表示されます。を押すと選択できます。
- を押して予測変換候補と通常変換候補の一覧を切り替えることができます。「変換モード」を「通常変換」に設定している場合は、ひらがなの入力時にを押すと通常変換候補が表示されます。
 - を確定する前に押すと、変換を解除します。

絵文字・顔文字・記号の入力

- 1 文字入力画面で
- 2 を押して、絵文字／顔文字／記号の一覧を表示
- 3 絵文字／顔文字／記号を選択

文字入力のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能やアプリ、条件などにより異なります。

- 1 文字入力画面で

呼出	定型文やデータ引用による入力ができます（→P.50）。
範囲選択（コピー他）	文字を選択してコピー、切り取り、貼り付け、単語登録ができます。
貼り付け	コピー／切り取りした文字列を貼り付けます。
元に戻す	直前の確定を解除できます。
文字入力設定	文字入力の設定をします。
編集中止	文字入力を中止します。

※表示される項目は条件によって異なります。

定型文入力

あらかじめ登録されている固定定型文や、登録した定型文などを入力できます。

- 1 文字入力画面で▶[呼出]▶[定型文]
- 2 定型文を選ぶ

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 1 「初期設定を行います」の画面が表示されたら

- Device Controlを有効にする場合は、を押さずに、###と入力します。
- Device Controlについては→P.48

アプリの権限設定

アプリの権限を一括で設定できます。

- アプリごとの権限の設定が不要となりますので、一括許可することを推奨します。
- アプリの権限設定で後から変更することができます。

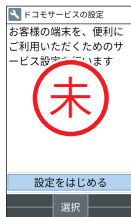
- 1 [一括許可する]▶[はい]

- [後で設定する]を選択するとアプリ起動時などに個別に権限を設定します。

***サービスの設定

- ***サービスは、待受画面で [設定] ▶ [***サービス]でも設定できます。

- 1 ***サービスの設定画面が表示されたら [設定をはじめめる]



- 2 [同意して設定する] ▶ アカウントを設定
- 3 [OK]

ロック・セキュリティ

操作用暗証番号設定

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。
- 各種暗証番号に関するご注意
- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードを***ショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

- PINロック解除コードは、***ショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。***ショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とnanoSIMカードを***ショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

機能ロックNo.（各種機能用の暗証番号）

各制限を設定している場合、一時解除するには機能ロックNo.の入力が必要になります。お客様ご自身で変更できます（→P.52）。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

ネットワーク暗証番号

ショップまたは インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただき、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、***のホームページをご覧ください。

PINコード

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（→P.53）。

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、***ショップ窓口にお問い合わせください。

機能ロックNo.変更

① 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ロック・セキュリティ] ▶ [機能ロックNo.変更]

② 現在の機能ロックNo.を入力 ▶

- 機能ロックNo.が未設定の場合は、現在の機能ロックNo.の入力は不要です。

3 新しい機能ロックNo.を入力▶■

4 もう一度新しい機能ロックNo.を入力▶■

SIMカードロック

PINコードについて設定します。

1 待受画面で ▶【設定】▶【ロック・セキュリティ】▶【SIMカードロック】

SIMカードをロック	電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
SIM PINの変更	PINコードを変更します。

お知らせ

- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定はnanoSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力


3 もう一度、新しいPINコードを入力

4 

タスクの管理

アプリ使用履歴の利用

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1  (1秒以上)

- 機能やアプリを利用中に押しでも操作できます。



1 アプリの使用履歴

- 履歴を選択してアプリを起動することができます。

2 サブメニュー

- 表示されているアプリを終了し、履歴をすべて削除できます。


3 消去

- カーソルを合わせたアプリの履歴を消去できます。

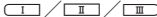


カスタマイズキーの利用

よく使う電話番号やお気に入りの機能をカスタマイズキーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。

カスタマイズキーに登録

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [カスタマイズキー]
- 2 登録するキーを選ぶ ▶ 登録機能を選ぶ
 - 登録の解除：解除するキーを選択 ▶ [設定なし]

カスタマイズキーに登録した機能の利用

- 1  /  / 
 - 押したキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。

TEMPORARY

電話

電話や電話帳を利用したり、通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- 最後の1桁を消去：
- すべての桁を消去：（1秒以上）
- カーソルの位置を移動：



2

- 発信オプションを利用して発信：▶[発信オプション]
▶各項目を設定▶
- SMSの作成・送信：▶[SMS送信]▶メッセージを入力▶

- 短縮ダイヤル一覧を表示：▶[短縮ダイヤル一覧]
- 電話帳の登録：▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶

3 通話が終わったら

- 通話終了後に、通話後録音の画面が表示された場合は、「はい」を選択すると通話後録音を設定できます。通話後録音は次の通話から動作します。また、録音した内容は「通話音声メモリスト」から確認できます（→P.59）。
- 端末を閉じて通話を終了できます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ








- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）のみ利用できます。
- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信すると、着信拒否設定の項目が「OFF」に設定されます。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。


電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する




- 2 
 - 、～、、を押しても電話を受けることができます。
- 3 通話が終わったら 
 - 通話終了後に、通話後録音の画面が表示された場合は、「はい」を選択すると通話後録音を設定できます。通話後録音は次の通話から動作します。また、録音した内容は「通話音声メモリスト」から確認できます（→P.59）。


着信音量調節

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- 2 


着信拒否

- ① 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- ②  ▶ [着信拒否]




着信拒否してSMSを送信

- ① 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- ②  ▶ [拒否してSMS送信]
- ③ メッセージを選ぶ

伝言メモで応答

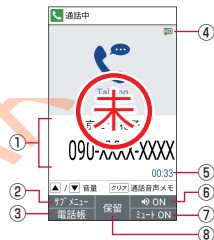
- ① 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- ②  ▶ [伝言メモ]

伝言メモの再生

- ① 待受画面で  ▶ 通知アイコン  を選ぶ
 - 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メモ] ▶ [伝言メモリスト] でも確認できます。
- ② 伝言メモを選ぶ

通話中の操作

通話中画面ではハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- ① 相手の名前や電話番号
- ② サブメニュー
 - 着信履歴／リダイヤル一覧画面の表示や、Bluetooth通話の切り替えができます。
- ③ 電話帳
 - 電話帳を表示できます。
- ④ 高音質表示
 - VoLTEを利用した高音質通話中に表示されます。
 - VoLTE着信中なども表示されます。
- ⑤ 通話時間
- ⑥ スピーカーON/OFF
 - ハンズフリー通話のONとOFFを切り替えます。
- ⑦ ミュートON/OFF
 - ミュートのONとOFFを切り替えます。

⑧ 保留

- 保留／解除にします。

お知らせ

- ハンズフリー通話では次の内容にご注意ください。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

通話音量調節

① 通話中に


通話を追加

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
- 通話を追加するにはキャッチホンのご契約が必要です。

例：電話帳を表示して通話を追加するとき

① 通話中に

② 連絡先にカーソルを合わせる

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。
- 通話相手を切り替える場合は、通話中に  を押しください。

リダイヤル／着信履歴一覧画面の表示

① 通話中に ▶ [着信履歴]／[リダイヤル]

- 通話中に  /  を押しでも着信履歴／リダイヤルを表示できます。

音声の出力先の切り替え

- Bluetooth機器を接続しているときのみ操作できます。

① 通話中に ▶ [本体通話切替]／[Bluetooth通話切替]

通話音声メモ

- 通話後録音の設定がOFFになっているときのみ操作できます。

① 通話中に

- 録音を開始します。

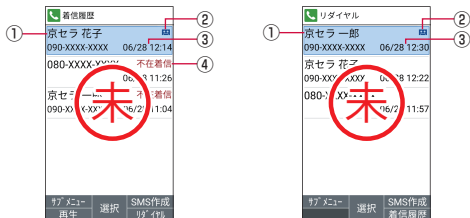
②

- 録音した通話音声メモを保存します。

リダイヤル／着信履歴

最新の履歴からそれぞれ50件まで本体メモリに記憶されます。

1 待受画面で□/□



着信履歴一覧画面

リダイヤル一覧画面

- 1 相手の名前／電話番号
- 2 通話音声／伝言メモあり
- 3 発着信日時
- 4 不在着信の表示

2 履歴にカーソルを合わせる

- 通話音声／伝言メモの再生：⏮
- リダイヤル／着信履歴一覧画面の切り替え：⏪

3

- SMSの作成・送信：✉▶メッセージを入力▶⏪
- メール作成・送信：✉▶[メール作成]▶メールを作成▶⏪
- 番号通知などの条件を設定して発信：✉▶[発信オプション]▶各項目を設定▶✉/✉

- 居場所を確認：📍▶[居場所を確認]▶[イマドコサーチ]
 - [イマドコサーチ]のサイトに接続します。イマドコサーチの詳細については、***のホームページをご覧ください
 - 利用にはパケット通信料がかかります。
- 電話帳の登録：📞▶[電話帳登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶⏪
- 着信拒否番号登録：📞▶[着信拒否番号登録]▶[迷惑電話ストップサービス]／[番号指定拒否に登録]

リダイヤル／着信履歴の削除

1 待受画面で□/□

2 履歴にカーソルを合わせる▶📞▶[履歴削除]▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：📞▶[履歴削除]▶[選択削除]▶履歴を選ぶ▶⏪▶[はい]
- 全件削除：📞▶[履歴削除]▶[全件削除]▶[はい]

通話音声／伝言メモ


通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 伝言メモは100件、通話音声メモは50件まで録音できます。伝言メモは1件あたり約60秒、通話音声メモは約60分まで録音できます。
- 伝言メモ／通話音声メモをmicroSDカードに保存する場合、保存件数および1件あたりの時間は、microSDカードの空き容量に依存します。



1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メモ]

伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護／解除などができます。
通話音声メモリスト	音声メモの再生や削除、保護／解除、microSDカードへの保存などができます。
伝言メモ	伝言メモの動作について設定します。
応答時間	伝言メモの応答時間について設定します。
応答メッセージ	伝言メモの応答メッセージについて設定します。
ドライブモード 中有効	ドライブモード設定中に伝言メモで応答するかどうかを設定します。
通話後録音	終話時に、あとから通話内容を録音するかどうかを設定します。

お知らせ

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、保護されていない古い伝言メモから順に削除されます。最大保存件数すべてが保護されているときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した音声メモが最大保存件数を超えた場合は、保護されていない古い音声メモから順に削除されます。
- 待受画面で  を押しても、表示できます。


通話音声／伝言メモの再生

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メモ] ▶ [伝言メモリスト]／[通話音声メモリスト]
- 2 再生する通話音声／伝言メモを選択
 - 再生画面が表示され、通話音声／伝言メモが再生されます。
 - 途中で停止する場合は、  を押します。

電話帳

連絡先の管理を行うことができます。

電話帳の登録

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳登録]
- 2 [新規連絡先として登録]／[既存の連絡先に追加]
 - [既存の連絡先に追加] を選択した場合は連絡先を選択します。
- 3 各項目を設定


姓	姓を入力します。
名	名を入力します。
姓のふりがな	姓のふりがなを入力します。
名のふりがな	名のふりがなを入力します。
電話	電話番号の種別と電話番号を登録します。

メール	メールアドレスの種類とメールアドレスを登録します。
お気に入り	お気に入りに登録するか設定します。
グループ	グループに分けて登録します。
着信LED	着信LEDのパターンと色を設定します。
着信音	着信音を設定します。 ● [プリセット] / [データフォルダ] から着信音を選択できます。
イベント	誕生日や記念日などを登録します。
メモ	メモを登録します。
ニックネーム	ニックネームを登録します。
住所	郵便番号と住所を登録します。
会社	会社を登録します。
ウェブサイト	URLを登録します。
No Image	画像を登録します。 ● 連絡先確認時やSMS利用時に表示する画像を設定します。

4

電話帳検索


1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索(50音)] / [電話帳検索(グループ)]

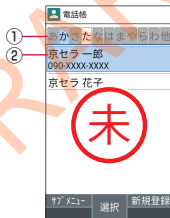
- 表示方法の切り替え:  ▶ [確認/設定] ▶ [一覧表示切替] ▶ [50音] / [グループ]

電話帳の確認 / 利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索(50音)] / [電話帳検索(グループ)]



- 電話帳リスト画面が表示されます。
- 待受画面で  を押ししても表示されます。



50音



グループ

- 1 タブ
 -  でタブを切り替えます。
- 2 連絡先
- 3 グループ名
 -  でグループを切り替えます。

2 名前を選ぶ

3 登録情報を確認／利用する



電話帳内容表示画面

電話をかける

- 1 電話帳内容表示画面で電話番号を選ぶ

SMSの作成・送信

- 1 電話帳内容表示画面で電話番号にカーソルを合わせる ▶ [📷]

メールの作成・送信

- 1 電話帳内容表示画面でメールアドレスを選ぶ ▶ [ドコモメール] / [PCメール]

電話帳の編集

- 1 電話帳内容表示画面で [MENU] ▶ [編集] ▶ 各項目を設定 ▶ [📷] ▶ [上書き登録] / [新規登録] ▶ [OK]
 - 設定できる各項目については → P.60

電話帳の削除

- 1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせる ▶ [MENU] ▶ [電話帳削除] ▶ [1件削除] ▶ [はい]
 - 選択削除：電話帳リスト画面で [📷] ▶ [電話帳削除] ▶ [選択削除] ▶ 名前を選ぶ ▶ [📷] ▶ [はい]
 - 全件削除：電話帳リスト画面で [📷] ▶ [電話帳削除] ▶ [全件削除] ▶ [はい]

メール／ウェブブラウザ

***メールやSMSなどを利用して、メッセージを送受信したり、ウェブブラウザを利用してサイトを表示したりできます。

***メール

のメールアドレスを利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ***メールの詳細については、***のホームページをご覧ください。
- 「ようこそ***メールへ」の画面が表示されたら👉を押してください。

***メールの作成・送信

- 1 待受画面で👉
- 2 [新規メール作成]
 - 📧を押してもメール作成画面を表示できます。



メール作成画面

- 3 宛先入力欄を選ぶ
- 4 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶ 📧 ▶ 📧
 - 宛先追加：📧 ▶ 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶ 📧 ▶ 📧
 - 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる ▶ 📧 ▶ [1件削除] ▶ [はい] ▶ 📧
 - 宛先の選択削除：📧 ▶ [選択削除] ▶ 宛先を選ぶ ▶ 📧 ▶ [はい] ▶ 📧
 - 宛先の全件削除：📧 ▶ [全件削除] ▶ [はい] ▶ 📧
- 5 件名入力欄を選ぶ ▶ 件名を入力
- 6 本文欄を選ぶ ▶ 本文を入力
- 7 📧
 - 下書き保存：📧

添付ファイル

***メールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

① メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

② 添付ファイルを選ぶ

写真・画像	静止画やダウンロードした画像を添付できます。
動画	動画を添付できます。
電話帳	電話帳に登録されている連絡先を添付できます。
その他のファイル	本体やmicroSDカード内のさまざまなファイルを添付できます。

③

■ 添付ファイルの追加

① メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

② ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶

■ 添付ファイルの削除

① メール作成画面で添付追加欄を選ぶ



② 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除] ▶ [はい] ▶

- 選択削除：▶ [選択削除] ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶ ▶ [はい] ▶ 
- 全件削除：▶ [全件削除] ▶ [はい] ▶ 

***メールの受信

***メールは自動的に受信します。

① ***メールを自動的に受信

- 待受画面に通知アイコン []、ステータスバーに []が表示されます。
- 自動で受信しない：待受画面で ▶ [メール設定] ▶ [通信設定] ▶ [自動通信設定] ▶ [毎回確認する] / [OFF]

② 待受画面で ▶ 通知アイコン []を選ぶ


- 待受画面で ▶ [受信BOX] でも確認できます。

③ フォルダを選ぶ ▶ 未読の***メールを選ぶ

メール問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきた***メールをセンターに問い合わせで受信できます。



① 待受画面で (1秒以上)

- 待受画面で ▶ [新着メール確認/更新] でも問い合わせできます。

+メッセージ

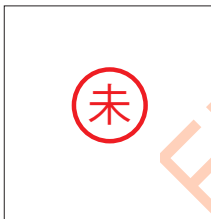
携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけでなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。

- +メッセージの詳細については、待受画面で▶[メール]▶[+メッセージ(SMS)]で+メッセージを開き、▶[ヘルプ]▶[使い方ガイド]を確認、または***のホームページをご覧ください。






+メッセージの画面

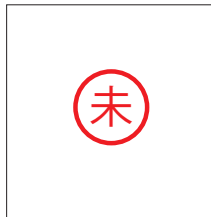
- 1 待受画面で▶[メール]▶[+メッセージ(SMS)]



- ① プロフィール画像
- ② メッセージ
- ③ サブメニュー
- ④ 新規作成
- ⑤ マイページ

メッセージを送信する

- 1 待受画面で▶[メール]▶[+メッセージ(SMS)]
- 2 ▶[新しいメッセージ/新しいグループメッセージ]
- 3 宛先を選択
- 4 ▶メッセージを入力▶メッセージを入力▶

● メッセージ画面のメニュー



- ① サブメニュー
- ② ギャラリー
- ③ 作成
- ④ スタンプ
- ⑤ メッセージの配信状況

ウェブブラウザ

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

- ウェブブラウザを利用中に \square が動作しなくなったときは、ポインターを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります(→P.30)。
- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

メニュー

メニューでは、***のおすすめするサイトやお客サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

① 待受画面で \square ▶[ホームページ]

- ブラウザが起動し、「メニュー」が表示されます。
- 確認画面などが表示された場合は、画面に従って操作してください。

お知らせ

- メニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください(→P.33)。
- メニューへの接続およびメニューで紹介しているコンテンツのご利用には、別途パケット通信料がかかります。なお、ご利用になるコンテンツによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- メニューで紹介しているコンテンツには、一部有料のコンテンツが含まれます。

サイト画面の操作

- ページの表示を上下に移動： \square ／ \square
- ページを戻る： \square
- ページを進む： \square ▶ [進む]
- ページの再読み込み： \square ▶ [再読み込み]
- 動画の再生音量変更(音量DOWN/音量UP)： \square ／ \square
- 拡大/縮小： \square ／ \square
- 文字サイズの拡大/縮小： \square ／ \square
- ページの情報を表示： \square ▶ [ページ操作] ▶ [ページ情報]
- ガイドの表示： \square

新しいタブを開く

① サイト画面で \square ▶[新規タブ]

- 複数のタブを表示中は、サイト画面で \square ▶[タブ一覧]▶[新規タブ作成]を選択します。

タブの切り替え

① サイト画面で \square ▶[タブ一覧]

② タブを選ぶ




- \square ／ \square でもタブを切り替えることができます。

タブを閉じる




① サイト画面で \square ▶[タブ一覧]▶タブにカーソルを合わせる▶ \square

Web検索／URL入力





URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

- 1 サイト画面で   ▶ [Web検索・URL入力]
 - 待受画面で  ▶ [Web検索・URL入力] でも表示できます。
- 2 キーワード／URLを入力
 - キーワードを入力して検索するときは、Web設定の [高度な設定] の [検索エンジンの設定] で指定の検索エンジンを使用します。


画像の保存

- 1 サイト画面で   ▶ [ページ操作] ▶ [画像保存]
 - 画像保存モードに切り替わります。
- 2 ポインタで画像を選ぶ
 -  で操作してください。
 - 画像保存後、[保存したデータを見る] を選択すると保存した画像を確認することができます。

文字のコピー

- 1 サイト画面で   ▶ [ページ操作] ▶ [文字列コピー]
- 2 ポインタで始点を選ぶ
 -  で操作してください。
- 3 コピーする範囲を指定
- 4  ▶ [OK]

ページ内の文字の検索

- 1 サイト画面で  ▶ [ページ操作] ▶ [ページ内検索]
- 2 検索ワードを入力
 - [へ] / [v] で検索ワードに移動します。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末では、マナーモードや音量の設定に関わらずシャッター音や動画録画の開始音／停止音は鳴ります。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などとすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。

なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰される場合があります。

撮影画面の見かた

1 待受画面で Ⓢ

- 待受画面で Ⓢ ▶ [カメラ/ラジオ] ▶ [カメラ] でもカメラを起動できます。
- microSDメモ리카ードが取り付けられているときは、確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



- ① フォーカス枠
- ② 電池レベル状態
電池残量が少なくなったときに表示されます。
- ③ ズーム
 ⏏ を押すとズームバーが表示され、ズームを調整できます。
- ④ 撮影可能残り枚数/録画時間
保存先のストレージ容量が少なくなったときに表示されます。
- ⑤ 直前に撮影/録画したデータ
直前に撮影/録画したデータのサムネイルを表示します。 Ⓢ を押すとデータが表示されます。

静止画の撮影

1 待受画面で Ⓢ

2 Ⓢ / マナー/シャッター

- ピントが合い、撮影されます。撮影したデータは自動的に保存されます。
- 「撮影画像の表示」がONの場合、撮影した画像が表示されます。 Ⓢ ▶ [[はい]] を押すと、撮影した画像を削除できます。

動画の撮影

1 待受画面で Ⓢ

2 Ⓢ

録画が開始されます。

3 Ⓢ

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

お知らせ



- 録画中に本端末を閉じると、録画が終了します。
- オートフォーカスが常時動作し、自動でピントを合わせるコンテンツアシストAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影シーンや被写体に合わせて画質調整が常時自動で行われます。
- 録画中は送話口/マイクでのみ録音できます。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、***のホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (→P.76)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.43
 - 電池切れになっていませんか。→P.44
- 画面が動かない、電源が切れない
 - とを同時に10秒以上押すと、本端末の電源を強制的に切り、再起動することができます。
※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電

- 充電ができない
充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.43
 - アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。→P.45
 - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.45
 - ACアダプタ (別売) をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末または卓上ホルダ (別売) にしっかりと接続されていますか。→P.45、P.46
 - USBケーブル A to C 02 (別売) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。→P.44

端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - ・ 操作中や充電中、また、充電しながらアプリなどを長時間使用した場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。→P.44
- 電池の使用時間が短い
 - ・ 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - ・ 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
 - ・ 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。→P.44
- 電源断・再起動が起きる
 - ・ 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
- キーを押しても動作しない
 - ・ 端末の電源が切れていませんか。→P.48
- キーを押したときの画面の反応が遅い
 - ・ 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
- nanoSIMカードが認識しない
 - ・ nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.37

- 時計がずれる
 - ・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻]の[自動設定]が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
- 端末動作が不安定
 - ・ お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - ・ セーフモードの起動方法
電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面で待受画面が表示されるまで \blacksquare を押し続けてください。
 - ※ 電源を入れた状態で \leftarrow （1秒以上）▶ [はい] にカーソルを合わせる▶ \blacksquare （1秒以上）▶ [はい] でも、セーフモードで再起動ができます。
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
 - ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ・ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
- アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）
 - ・ 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。

通話

- キーを押しても発信できない
 - ・ 機内モードを設定していませんか。
- 着信音が鳴らない
 - ・ 着信・メール・通知の音量を [0 (マナーモード)] にしていませんか。
 - ・ 公共モード (電源OFF)、マナーモード、機内モードを設定していませんか。
 - ・ 呼出動作開始時間設定、着信拒否設定を設定していませんか。
 - ・ 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていませんか。
→P.59
 - ・ 留守番電話サービスの呼出時間設定または転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。
- 通話ができない (場所を移動しても [電波] の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
 - ・ 電源を入れ直すか、電池パックまたはnanoSIMカードを入れ直してください。→P.37、P.43、P.48
 - ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は [電波] を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - ・ 着信拒否など着信制限を設定していませんか。
 - ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

画面

- ディスプレイが暗い
 - ・ バックライト点灯時間を短く設定していませんか。
 - ・ 明るさのレベルを変更していませんか。

音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - ・ 通話の音量を変更していませんか。

メール

- メールを自動で受信しない
 - ・ 自動通信設定を [毎回確認する] または [OFF] に設定していませんか。→P.64

カメラ

- 撮影した静止画や動画がぼやける
 - ・ カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
 - ・ 手振れ補正を [ON] にして撮影してください。

データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。→P.41
- 画像表示しようとする時「×」が表示される
 - ・ 画像データが壊れている場合に表示されます。

Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。→P.48

エラーメッセージ

- [SIMカードを挿入／再確認してください。]
 - nanoSIMカードが正しく取り付けられているかご確認ください。→P.37
- [空き容量わずか]
 - 内部ストレージがいっぱいです。アプリやデータを移動／削除してください。
- [ロックNo.の確認] / [パスワードの確認]
 - 端末のロック中に、端末を操作しようとした場合に表示されます。ロックNo.またはパスワードを入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。

端末初期化

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

- ① 待受画面で^{ME}NO ▶ [設定] ▶ [その他の設定] ▶ [リセット オプション]
- ② [すべてのデータを消去(初期状態にリセット)] ▶ [モバイル端末をリセット] ▶ [すべて消去]
 - すべてのネットワークの設定をリセット: [Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット] ▶ [設定をリセット] ▶ [設定をリセット] ▶ [OK]
 - 無効化されているアプリや権限のすべての制限などをリセット: [アプリの設定をリセット] ▶ [はい]

お知らせ

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 設定メニューで設定した内容
- 電池残量が19%以下の場合にはオールリセットできません。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - 電池パック KY01、リアカバーは無料修理保証の対象外となります。
 - 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、***のホームページをご覧ください。

無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。

- (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ***指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
 6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
 7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

修理が必要な場合

***指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細は***指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを***純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに***指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただきます場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート



ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。ソフトウェアアップデートの種類としては以下の3つがあります。

- **新機能追加**
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
 - **品質改善**
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
 - **セキュリティパッチの最新化**
セキュリティパッチ（脆弱性を対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。
- 本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、***のホームページをご覧ください。
[***のホームページ] ▶ [お客様サポート] ▶ [製品・サービスのご利用・ご活用情報] ▶ [製品アップデート情報] ▶ [提供中の製品アップデート情報]

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから「ソフトウェアアップデート提供開始」、「ソフトウェアアップデート開始確認」の通知が表示されましたら、待受画面で▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェアアップデート]を選択し、更新を開始します。
- 更新を促すポップアップから
更新をお知らせしてから一定期間経過後に定期的に表示される「アップデートが利用可能です」のポップアップから[OK]を選択し、更新を開始します。
- 本体設定から
待受画面で▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェアアップデート]を選択し、更新を開始します。ソフトウェアアップデートが不要な場合、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

更新ファイルのダウンロードとインストールの前に「今すぐ実施」「後で」の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、以下のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。


(1) 「今すぐ実施」を選択する

すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。

(2) 「後で」を選択する

時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。

予めおすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、[予約時刻変更]を選択し、予約時刻を指定してください。

- 後から予約時刻を変更する場合は、待受画面で▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェアアップデート]▶[予約時刻変更]を選択し、予約時刻を設定してください。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。
- 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止する場合は、一定時間内にキャンセルを選択してください。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに「ソフトウェアアップデート完了」が表示されます。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。

- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですが***指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合にはソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに行うことをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種EB1136の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.657W/kg (※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.530W/kg (※3) です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかど

うかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第

14条の2）で規定されています。

※2 LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones

This model EB1136 mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^(*) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.657W/kg^{(*)2}, and that when worn on the body is 0.530W/kg^{(*)3}. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
(in Japanese only)

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信など行うことはできません。また、お客様が本製品を利用して他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますので控えください。

商標について

- 「メニュー」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ®」、「デコメール®」、「iモード」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エアメール」、「イマドコサーチ」、「spモード」、「あんしんマネージャー」、「menu」ロゴ、「エアメール」ロゴ、「***メール」ロゴ、「***電話帳」ロゴは(株)***の商標または登録商標です。
- 「DIGNO」は、京セラ株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、京セラ株式会社はライセンスに基づいて使用しています。



- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Allianceの商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindows® 10/Windows® 11は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft® Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2023 All Rights Reserved. THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA.

LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC
PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL
USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT
DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE
VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD
("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT
WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A
PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM
A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC
VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE
IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL
INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,
LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

- 本製品の一部分に、Independent JPEGGroupが開発したモジュールが含まれています。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。
- この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「**■オープンソースソフトウェアについて**」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認

められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

あ

アプリ権限設定	50
アプリ使用履歴	53
暗証番号	51
PINコード	52
PINロック解除コード	52
PUKコード	52
機能ロックNo.	52
機能ロックNo.変更	52
ネットワーク暗証番号	52
ウェブブラウザ	66
メニュー	66
URL入力	67
画像保存	67
検索	67
操作	66
タブ操作	66
ホームページ	66
文字検索	67
文字のコピー	67
絵文字入力	50
エラーメッセージ	73
応答メッセージ	60
オープンソースソフトウェア	82
お知らせアイコン	32
お手入れ	23
音量	
着信	56

通話	58
----	----

か

カーソルキー	26、29
外部ストレージ	41
外部接続端子	27
顔文字入力	50
各部の名称	26
カスタマイズキー	27、54
カメラ	68
記号入力	50
機能ロックNo.	52
機能ロックNo.変更	52
切り取り	50
緊急通報	55
空気穴	27
クリアキー	27
故障かな?と思ったら	70
コピー	50

さ

材質一覧	13
サブディスプレイ	34
充電	44
ACアダプタ	45
DCアダプタ	48
卓上ホルダ	46
パソコン	48
充電ランプ	28、34

終了キー	27	着信履歴	59
受話口	26	著作権	81
肖像権	81	通知アイコン	31
商標	81	内容確認	32
ショートカット	29	通知リスト	33
初期設定	50	通話音声メモ	
スクリーンショット	35	再生	60
ステータスアイコン	33	設定	59
ステータスバー	31、32	録音開始	58
お知らせアイコン	32	通話音量	58
ステータスアイコン	33	通話後録音	60
ストッパー	28	定型文	50
ストラップ	36	ディスプレイ	26
ストラップ取付部	27	データ消去	73
スピーカー	26	電源	
センターキー	26	入れる	48
操作用暗証番号	51	切る	48
送話口	27	電源キー	27
ソフトウェアアップデート	76	伝言メモ	
		応答	57
		再生	57、60
		設定	59
		電池パック	28、43
		寿命	44
		取り付け	43
		取り外し	44
		電話	55
		受ける	56
		かける	55
		通話中の操作	57
		通話の追加	58
		電話帳	60

た

耐衝撃性能	20
ダイヤルキー	26
タスク管理	53
端末リセット	73
知的財産権	81
着信音量	56
着信拒否	57
SMS送信	57
着信ランブ	28、34

SMS	62
確認	61
検索	61
削除	62
電話をかける	62
登録	60
編集	62
メール	62
	電話番号 (自
分)	35***メー
ル	63作
成	63受
信	64送
信	63添
付ファイル	64
メール問い合わせ	64
トラブルシューティング	70

な

内蔵Bluetoothアンテナ部	28
内蔵GPSアンテナ部	28
内蔵Wi-Fiアンテナ部	28
内蔵サブアンテナ部	28
内蔵メインアンテナ部	28
ネットワーク暗証番号	52

は

発信キー	26
貼り付け	50
範囲選択	50

比吸収率	78
フォーカスモード	31
ブラウザキー	27
プロフィール	35
ポインター操作	30
防塵性能	20
防水性能	20
ホームページ	66
保証とアフターサービス	74
本体付属品	1

ま

マイク	27
待受画面	31
水抜き	25
メール	
+メッセージ	65
***メー	
ル	63メールアド
レス (自分)	36メール
キー	26文字
切替	48文
字彙歪ク機能	49
戻す機能	49
文字入力	48
顔文字	50
記号	50
切り取り	50
コピー	50
サブメニュー	50

定型文	50
貼り付け	50
範囲選択	50
予測変換機能	49
文字変換	49

や

輸出管理規制	80
予測変換機能	49

ら

リアカバー	28
取り付け	22
取り外し	22
リセット	73
リダイヤル	59

英数字

Bluetooth通話	58
Device Controlについて	48
アカウントパスワード	52
メニュー	66
FAQ	70
License	83
MENUキー	26
microSDカード	41
取り付け	42
取り外し	43

nanoSIMカード	37
取り付け	37
取り外し	39
nanoSIMカードスロット	28
PINコード	52
PINロック解除	53
PINロック解除コード	52
PUKコード	52
SAR	78、79
SIM PINの変更	53
SIMカードロック	53
Web	66
+メッセージ	65
着信拒否	57

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

- レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード

本端末から鳴る音を消します。

● 公共モード（電源OFF）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ（→P.59）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain

any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).

The product's FCC ID is JOYEB1136.

You can view this certification in the following way.

How to confirm:

From the standby screen, press [Menu] → [Settings] → [About phone] → [Compliance information]